

ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	NO.2-4(副堰堤)		調査位置								北緯	36° 32' 35.0000 "		
発注機関	栃木県鹿沼土木事務所				調査期間		2007-12-26 ~ 2008-03-21					東経	139° 41' 29.0000 "	
調査業者名			主任技師				現地代理人		コ ン 定 者		ボーリング責任者			
孔口標高	163.82 m	角		方 向		地盤勾配		使用機種			ハンマー落下用具			
総掘進長	10.19 m	度		方 向		地盤勾配		エンジン			ポンプ			

標高 尺	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) — 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		室内 試験	掘進 月日	
											深度 (m)	10cmごとの 打撃回数 ／ 貫入量 (cm)			深度 (m)	試験名 および結果	深度 (m)	試験 番号			採取 方法
												0 10	10 20	20 30							
1				礫混り粘土 (CH-G)	暗褐		軟らかい	植生根、腐食物混じる。 含水比は中位から高位。 粘着性は中位。 礫径2から30mmの角礫混じる。			1.15 1.46	1 16	1 15	2 31	2						
2	161.92	1.90	1.90	粘土混り 砂礫 (GS-C)	暗褐		緩い	礫径2から25mmの角礫主体となる 礫間、粘土と少量の砂を充填 含水やや中位となる。		02/06 2.62	2.15 2.45	3 2	2 2	7 30	7						
3	161.22	0.70	2.60	火山灰質 粘土 (CHV)	茶褐		中位	粘着やや弱い、 軽石や礫径25mm角礫点在。			3.15	1 23	1 9	2 32	2						
4	160.47	0.75	3.35	礫混り粘土 (CH-G)	茶褐		中位	粘着強い。 礫径2から20mmの角礫所々混じる			3.47										
5	159.57	0.90	4.25	粘土混り 砂礫 (GS-C)	暗褐		中くらい	礫径2から40mmの角礫主体。 間隙に少量の粘土分を含む粗粒砂 充填。 含水比は中位から高位。 6.60から6.90mの間、全体に粘土 多く混じる。 全体にルーズな状態となる			4.15 4.45	1 4	4 5	10 30	10						
6											5.15 5.45	6 5	5 4	15 30	15						
7	156.82	2.75	7.00	粘性土 (C)	褐灰			スコリア、細砂分軟質に混入			6.15 6.45	3 8	7 7	18 30	18						
8	156.52	0.30	7.30	風化岩 (WR)	暗褐灰		中くらい	粘土混り砂礫状となる。 7.70から7.80mの間、褐色に変化			7.15 7.45	4 5	5 5	14 30	14						
9	155.87	0.65	7.95	頁岩 (Sh)	暗褐灰		非常に密な	コア長10cm程度の柱状コア主体 亀裂多数あり、割れ目褐色。 9.00mから黒褐色に変化。 9.28から9.40m岩片状コアとなる 9.60から9.85mの間、状態悪く粘 土状、岩片状コアとなる。			8.15 8.34	27 34	23 3	50 19	>50						
10	153.63	2.24	10.19								9.15 9.28	34 4	16 3	50 13	>50						
											10.15 10.19	50 4		50 4	>50						